

# かや 榎りぼーと

第 36 号

## 埋蔵文化財調査の記録 (平成21年度に実施した発掘調査より)

土地の中に、遺跡が埋まっている可能性の高い地域を埋蔵文化財包蔵地と呼びます。これら埋蔵文化財包蔵地内で掘削を行い、遺跡が現状で保存できない場合、事前に発掘調査を行い、失われる遺跡を記録で保存することとされています。

本年度はさいたま市教育委員会 8 件、さいたま市遺跡調査会 16 件、財団法人埼玉県埋蔵文化財調査事業団 2 件の発掘調査が実施されています。

今回は、これらの発掘調査の中から主な 7 件の調査成果をご紹介します。

### 1 しんぷくじかいづか 真福寺貝塚の調査〈岩槻区〉

岩槻区城南3丁目に所在する遺跡で、東武野田線岩槻駅の南東約1.6kmのところにあります。この遺跡は台地上から低湿地にかけて立地しています。

今回の調査は個人住宅の建設に伴い、さいたま市教育委員会が2月から4月にかけて実施しました。その結果、縄文時代後期から晩期の住居跡3軒などが見つかりました。縄文時代後期の住居跡は2軒が重なって見つかりました。住居跡からはヤマトシジミなどの貝層とともにシカ・イノシシなどの獣骨が多く出土しました。同じ住居跡内からは、ほぼ完全な形の台付浅鉢も出土しました。また晩期の住居跡からは土製の耳飾や石製の玉などの装飾品が出土しました。



▲出土した耳飾



▲出土した土器と獣骨



▲縄文時代後期の住居跡

## 2 おぶさ 大古里遺跡の調査〈緑区〉

緑区大字三室に所在する遺跡で、JR北浦和駅の北東約3.3kmのところにあります。この遺跡は見沼に面する台地上の縁辺部に立地しています。

今回の調査は分譲住宅の建設に伴い、さいたま市遺跡調査会が4月から5月にかけて実施しました。今回の調査では縄文時代早期の住居跡3軒、縄文時代前期の住居跡7軒、縄文時代中期～後期の住居跡4軒、縄文時代の土坑18基が見つかりました。また、縄文時代の土器や石器も出土しました。



▲縄文時代前期の住居跡

## 3 どうじょうじいんと 道場寺院跡の調査〈桜区〉

桜区大字大久保領家に所在する遺跡で、JR埼京線南与野駅の西約2.4kmのところにあります。この遺跡は自然堤防上に立地しています。

今回の調査は、集合住宅の建設に伴い、さいたま市遺跡調査会が8月から9月にかけて実施しました。今回の調査では弥生時代後期から古墳時代前期の住居跡1軒・方形周溝状遺構1基、古代の柱穴6基などが見つかりました。本調査地点の東隣では大型の掘立柱建物跡が見つっていますが、今回の柱穴の発見により新たな掘立柱建物があった可能性が大きくなりました。

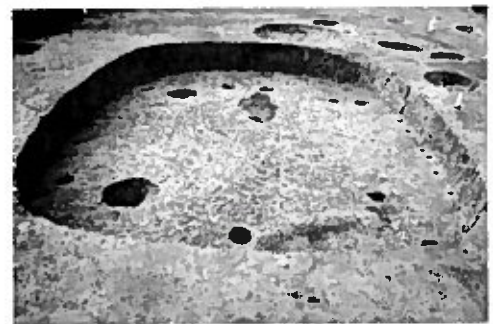


▲調査区全景

## 4 なかのだなかほら 中野田中原遺跡の調査〈緑区〉

緑区大字中野田に所在する遺跡で、埼玉高速鉄道浦和美園駅から北へ約1.0kmのところにあります。この遺跡は台地上に立地しています。

今回の調査は区画整理事業に伴い、さいたま市遺跡調査会が6月から12月にかけて実施しました。調査の結果、縄文時代前期の住居跡9軒・土坑23基、縄文時代中期の住居跡15軒・土坑14基、弥生時代後期の住居跡2軒などが見つかりました。縄文時代の土坑からは完形の土器が出土し、他に石斧・磨石・石皿などの石器も出土しました。



▲弥生時代の住居跡

## 5 B-55号遺跡の調査〈北区〉

北区日進町2丁目に所在する遺跡で、JR埼京線日進駅から西へ約0.3kmのところにあります。この遺跡は台地上に立地しています。

今回の調査は宅地造成工事に伴い、さいたま市遺跡調査会が9月から10月にかけて実施しました。調査の結果、縄文時代中期の住居跡5軒・土坑14基、柱穴群、縄文時代の土坑4基が見つかりました。そのうち1軒の住居跡では土器で囲われた跡と埋甕が出土しました。また別の住居跡では底面が粘土で固められている柱穴が見つかり、土器や石器の他に土製の耳飾も出土しました。



▲出土した埋甕



## 6 しものだほんむら 下野田本村遺跡の調査〈緑区〉

緑区大字下野田に所在する遺跡で、埼玉高速鉄道浦和美園駅から南西約0.1kmのところにあります。この遺跡は台地上の縁辺部に立地しています。

今回の調査は区画整理事業に伴い、さいたま市遺跡調査会が10月から12月にかけて実施しました。調査の結果、縄文時代の堅穴状遺構2基・土坑6基、弥生時代中期の住居跡3軒・環濠1条、弥生時代後期の住居跡1軒、中世の溝2条・土坑2基などが見つかりました。今回見つかった環濠は東側隣接地で見つかった環濠の続きであり、弥生時代の集落の広がりが確認されました。



▲調査区全景



▲土器の出土

## 7 なかのだしまのまえ 中野田島ノ前遺跡の調査〈緑区〉

緑区大字中野田に所在する遺跡で、埼玉高速鉄道浦和美園駅から北へ約0.7kmのところにあります。この遺跡は台地上の縁辺部に立地しています。

今回の調査は区画整理事業に伴い、さいたま市遺跡調査会が6月から12月にかけて実施しました。調査の結果、縄文時代後期の住居跡4軒、土坑41基が見つかりました。住居跡の炉跡からは蓋型土器、土坑からは注口土器が出土しました。



▲調査区全景



▲出土した土器

発掘調査の成果は、整理作業を経て発掘調査報告書として取りまとめられています。さいたま市教育委員会では、それに先立ち調査の成果をいち早く公開する試みとして「最新出土品展」と「さいたま市内遺跡発掘調査成果発表会」を開催しています。

本年度の「最新出土品展」は平成21年9月～11月にさいたま市立博物館ほか5会場で開催し、約3万人の方にご観覧いただきました。発掘調査を実施した担当者による調査成果の詳細な発表を行う「さいたま市内遺跡発掘調査成果発表会」は平成21年9月12日(土)に、さいたま市立博物館講座室において開催しました。

## さいたま市の文化財が大英博物館で紹介されました！



▲「DOGU」のパネル



▲大英博物館 企画展示室

文化庁海外展「土偶」(THE POWER OF DOGU)は、平成21年9月10日から11月22日まで、イギリスの大英博物館で開催されました。日本の文化や歴史を紹介するため、多くの国宝や重要文化財と一緒に、さいたま市ゆかりの資料2点が展示されました。海を渡った遠くイギリスの博物館で、世界の人々の目には、どのように映ったのでしょうか。

### 大英博物館で展示された資料

#### 埼玉県指定文化財

#### 馬場小室山遺跡出土 人面画土器

さいたま市馬場小室山遺跡(緑区)出土。縄文時代晩期。さいたま市教育委員会蔵。人面を表現した深鉢形の土器です。「土偶 装飾土器」と共に県指定文化財になっています。



#### 重要文化財 「土偶」(みみずく土偶)

さいたま市真福寺貝塚(岩槻区)出土。縄文時代後期。東京国立博物館蔵。みみずくに似ているため、一般に「みみずく土偶」といわれます。大きな耳飾があり、頭の部分は櫛等を表現しているといわれています。



## お知らせ

南部領辻の獅子舞(さいたま市指定無形民俗文化財)が公開されます。見学無料

日時・場所 平成22年5月16日(日)(雨天中止)  
10時～ 鷲神社境内(緑区南部領辻2914)  
13時～16時 南部領辻地区内

源義光が、兄の義家を助けるために、奥州へ向かった際、軍の士気を高めるために舞を行ったことが起源とされています。

春の祭礼は鷲神社を出発し、南部領辻地区内を廻る村祈禱があります。

※天候などにより日程が変更することもありますので、詳しくはさいたま市のWebページを御覧いただくか、文化財保護課(☎829-1723)までお問合せください。



さいたま市文化財時報

樞りぼーと

第36号

平成22年3月29日

【編集・発行】

さいたま市教育委員会 生涯学習部 文化財保護課  
☎330-9588 さいたま市浦和区常盤6丁目4番4号  
☎048-829-1723 ☎048-829-1989  
<http://www.city.saitama.jp/>